

百人一首 (うたばんごう 歌番号:56 ~ 60)

おおえやま
大江山
いくのの道の
遠ければ
まだふみもみず
あまはしたて
天の橋立

こしきぶのいし
小式部内侍



やすらはで
寝なましものを
小夜ふけて
かたぶくまでの
つきを見しかな

あかぞめえもん
赤染衛門



ありまやま
有馬山
いなさきはら
猪名の笹原
かぜふ
風吹けば
いでそよ人を
忘れやはする

だいのさんみ
大式三位



めぐり逢ひて
見しやそれとも
わかぬ間に
雲隠れにし
夜半の月かな

むらさきしきぶ
紫式部



あらざらむ
この世のほかの
思ひ出に
いまひとたびの
逢ふこともがな

いすみしきぶ
和泉式部



まだふみも
みずあまの
はしだて

かたぶくま
でのつきを
みしかな

いでそよひ
とをわすれ
やわする

くもがくれ
にしよわの
つきかな

いまひとた
びのあうこ
ともがな